

研究部レポート

東京の鳥の繁殖分布の変遷・3 島の鳥

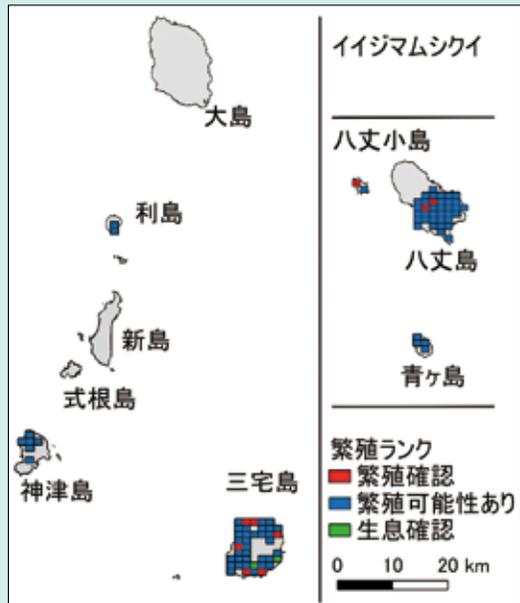
〔17～18ページの「東京都鳥類繁殖分布調査から見てきたこと」も併せてご覧ください〕

イジママシクイ・・・複数の島でいなくなった「繁殖固有種」



1970年代の調査では伊豆諸島の10島(有人島9島と八丈小島)で生息が確認されていましたが、今回の調査では、3島で確認されませんでした。イジママシクイ

シクイは日本の繁殖固有種と考えられていて、繁殖地はトカラ列島と伊豆諸島でしか知られていません。また、越冬地はフィリピンのルソン島での捕獲記録がある以外、ほとんど解明されていません。今後も分布域が縮小するのであれば、繁殖地の保全と越冬地の解明、及び保全が必要です。

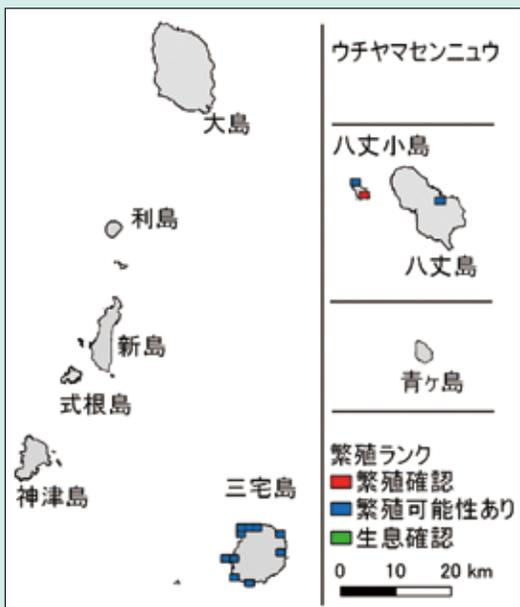


ウチャマセンニュー・・・草原の減少が分布域を減らしたか



国内では九州、および紀伊半島の沿岸、伊豆諸島で繁殖していて、冬期は中国南部からインドシナ半島北部にかけて分布し越冬します。環境省のレッドリス

トでは絶滅危惧II類に分類されています。伊豆諸島では三宅島に多く生息していましたが、2000年の噴火によって生息地が減った事もあり、個体数が減少していると考えられます。伊豆諸島では限られた生息地でのみ、繁殖しているの、その範囲の保全が重要だと考えられます。〔佐藤 望〕



〔資料・写真提供〕 バードリサーチ(地図)・牛久正治氏(写真)に感謝します。